

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月22日

事業所名 放課後等デイサービス そら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	0	今年度より、指導訓練室を拡張した。	
	2	職員の配置数は適切である	1	0	保育士等有資格者を増員、来年度以降も保育士等の有資格者を増員予定。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	1	事業所内のスペースに開いては、極力段差をなくすようにしている。	二階にある事業所まで階段があるが、スロープやエレベーター等が必要な肢体不自由、視覚、聴覚等の障がいを持った児童の利用はなく、また、当該児童を受け入れる予定もない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	0	月1度の職員ミーティングを通して、参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	毎年、アンケート調査を実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0	毎年、ホームページや会報に添付して公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1		現在、第三者委員会は設置されていないが、将来的に外部の第三者委員会の利用を検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	発達障害研修、学習支援者研修などを内部で実施。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	0	インターク時にニーズの聞き取り、その後のアセスメントで支援計画に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	1		ツールを運用可能な専門職(心理職等)が不在のため、利用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	0	イベントや調理実習等の活動プログラムに関する立案はチーム制で運営している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	0	定期的に利用者たち主導、職員が介助してイベント等活動プログラムの立案、計画も実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0	毎朝のミーティングを実施。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	毎日、終礼を実施。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	0	半年に1度のモニタリング、支援計画案に関する保護者面談を必ず実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	0		

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	0		
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0.6	0.4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1		これまで前例はないが、今後ニーズが発生すれば、保護者承諾のもとで情報提供の可能性あり。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	1		今後、ニーズが発生すれば連携を検討する可能性あり。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	系列のフリースクールの児童らとオンライン文化祭にて活動した。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	0	富田林市放課後等デイサービスネットワークに参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	保護者との定期的な面談はもちろんのこと、保護者が送迎の際、来所した時の聞き取りや、電話を通して、共通理解を深めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	0	1		今後、ニーズが発生すれば支援を検討する可能性あり。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0	契約の際、重要事項説明書を用いて左記内容について丁寧な説明を行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	ホビーの会(保護者会)や年に1度の保護者参加イベントを通して、保護者同士の連携を支援している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	0	ラシーナ通信(会報)を月1回発行し、全利用者世帯に配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	1	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.8	0.2	まちライブラリー、プログラミング教室、発達障害者当事者の会に対し、会場を提供している。	コロナ禍のため、その運営が滞っているとの意見もあり。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	0	各種マニュアルを作成、更新し、随時保護者に配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	毎年3月ごろに、火災を想定した避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	これまで外部研修の受講あり。今後は外部研修受講後の内部研修を予定している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	1		これまで身体拘束を必要とするような強度行動障害児を受け入れた実績なし。また、当該児童を受け入れる能力や環境もないので、今後受け入れる予定もない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0		契約時に保護者より聞き取り、また、調理実習実施時にアレルギーアンケートを実施している、
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0		